護衛艦いなづま

ＪＳ　ＩＮＡＺＵＭＡ
ＤＤ１０５

MEMO

海上自衛隊

護衛艦いなづま　外観および主要装備品等

性能要目
基準排水量：4,550 t
全　　長：151.0 m
全　　幅：17.4 m
高　　さ：47.0 m
喫　　水：5.2 m
最大速力：30 ノット　※約55 km/h
機　　関：ガスタービンエンジン×4　約60,000 馬力
製 造 会 社：三菱重工業株式会社　長崎造船所

護衛艦「いなづま」の艦歴

本艦は、「むらさめ」型護衛艦の５番艦として、三菱重工業長崎造船所で１９７７年５月８日に起工し、１９９８年９月９日に進水、２０００年３月１５日に就役しました。
２００２年、及び２００６年にテロ対策特別措置法に基づきインド洋に派遣、２０１１年、２０１４年、及び２０１６年に海賊対処法案に基づきソマリア沖アデン湾に派遣されています。
２０１８年７月、西日本豪雨災害により母港「呉」でも土砂災害や断水が発生し、乗員とその家族も被災者となる中、艦内の入浴施設を被災者に開放するとともに、給水支援活動を実施しました。

艦名の由来

護衛艦の名称は、天象、気象、山岳、河川、地方の名からとられています。（海上自衛隊の使用する船舶の区分等及び名称等を付与する標準を定める訓令）
「むらさめ」型護衛艦（計９隻）は、「雨」にちなんで命名されており、「いなづま」も雨雲に伴って発生することが多く雨を想起させることから、５番艦である本艦に命名されました。

・１番艦「むらさめ」（村雨）
・２番艦「はるさめ」（春雨）
・３番艦「ゆうだち」（夕立）
・４番艦「きりさめ」（霧雨）
・５番艦「いなづま」（雷）
・６番艦「さみだれ」（五月雨）
・７番艦「いかづち」（雷）
・８番艦「あけぼの」（曙）
・９番艦「ありあけ」（有明）

ごあいさつ

本日はようこそご来艦くださいました。
乗員一同、心から歓迎いたします。
本艦は「むらさめ」型護衛艦の５番艦として平成１２年３月１５日に就役した、対空、対艦および対潜攻撃能力を有する汎用護衛艦であります。
また、「むらさめ」型より前に建造された護衛艦に比べて省力化を追求しており、大きさの割には乗員数が少なくなっているのが特徴で、乗員の生活環境は大きく改善されております。
海上自衛隊の主任務は、海上における我が国の防衛と海上交通の保護でありますが、本艦もその一翼を担うため常に前線にあり、日夜訓練に励み、任務に邁進しております。
本日は、時間の許す限り艦内をご見学いただき、海上自衛隊の一端をご理解いただければ幸いに存じます。
今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いなづま艦長

シンボルマーク

雷様のイラスト、海上自衛隊のシンボルである桜に錨、そして、ＩＮＡＺＵＭＡの「Ｚ」を稲妻に見立てたロゴで構成されています。

※雷様のイラスト
１９８８年(株)オーム社発行
「カミナリはここに落ちろ」
著者：岡野大祐氏から転載許諾

歴代「いなづま」の変遷

初代「雷（いかづち）」型駆逐艦
排水量：３４５ｔ　全長：６７．２m
明治３２年４月～明治４２年１２月
乗員：６０名

２代「吹雪（ふぶき）」型駆逐艦
排水量：１，６８０ｔ　全長：１１８．０m
昭和７年１１月～昭和１９年５月
乗員：２３３名

３代「いかづち」型護衛艦
排水量：１，０７０ｔ　全長：８７．５m
昭和３１年３月～昭和５８年３月
乗員：１６０名

４代「むらさめ」型護衛艦
排水量：４，５５０ｔ　全長：１５１．０m
平成１２年３月１５日～
乗員：約１７０名

「いなづま」の艦名使用は、旧日本海軍の「雷」型駆逐艦から数えて４代目、海上自衛隊としては２代目となります。

哨戒機 SH-60K

性能要目
全　　長：19.8 m
全　　幅：16.4 m
高　　さ：5.4 m
重　　量：10.9 t
最大速力：139 ノット　※約250 km/h
乗　　員：4名
エ ン ジ ン：T700-IHI-401C2 ×2　※2,200馬力
製 造 会 社：三菱重工業株式会社